

シルバーだより

いきがい

発行

公益社団法人

佐用町シルバー人材センター

広報編集委員会

〒679-5301 兵庫県佐用郡佐用町佐用 1035-14

TEL (0790) 82-3630 FAX (0790) 82-3034

ホームページアドレス <http://sawosilver.sakura.ne.jp>

就業中の会員紹介
(vol. 2)



石原廣一郎さん(左)と山根一博さん
南光地域の凍結防止剤配布事業

横本一美さん
三日月文化センター管理

主な内容

- ・理事長年頭挨拶
- ・兵庫県シルバー人材センター協会会長表彰
佐用町シルバー人材センター(法人)・長期役員(寺本副理事長)・20年会員3名
- ・会員親睦旅行記・寄稿・投稿(年男・年女、川柳)
- ・事務局だより、配分金の申告について、配分金支払日のお知らせ
- ・新入会員・退会会員紹介、会員募集、安全就業標語、編集後記

標語 近道は しないさせない 怪我のもと



新春ご挨拶

～ 発足20年を経過して ～

新年明けましておめでとうございませう。

会員の皆様には、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

日頃は、当センターの就業にご精励を頂き誠に有り難うございます。お陰をもちまして、本年度は、当初より各月とも前年度を上回る実績を上げていただいております。会員の皆様の誠意ある就業の賜であり、改めて感謝申し上げます。

平成29年2月に発足20年を経過して記念式典を開催いたしました。また、平成29年10月開催の兵庫県シルバー人材センター協会の大会に於いて、当センターの順調な20年間の歩みについて表彰を受けました。誠意ある会員の皆様、そして歴代役員各位のご努力が評価されたものと、関係各位に改めて敬意を表するものであります。



団体表彰を受ける有本理事長

理事長 有本長治郎

昭和55年に高齢者労働能力開発事業として、初めてシルバー人材センターの名称が国の法令に表現され、昭和61年の高齢者等の雇用安定に関する法律の一部改正により、法的にシ

ルバー人材センターが位置づけられ、行政指導もあり全国に設立されました。その後も、労働者派遣事業、職業紹介事業等業務範囲の拡大もありました。

少子高齢化、人口減少社会に突入しており、今後更に急速に進むなかで、シルバー人材センターの存在価値、地域社会におけるその役割は、益々重要度が高くなってまいります。高齢者が長年培ってきた知識、技能を活かし、生きがいとして地域社会の活性化に貢献するこ

受賞のことば

副理事長 寺本義弘

平成29年10月19日 神戸情報文化ビル(松方ホール)にて、県シルバー人材センター事業推進大会が開催されました。

当日は、役員、会員等約500人が参加。県知事表彰・協会長表彰と続き、中でも会員表彰25年の会員が3名あり、永年のご努力に感銘を受けました。



表彰を受ける寺本副理事長

私は、役員8年の表彰を受けました。あつという間の8年でしたが、この間就業の開拓・安全就業の取り組み・会員の増強等、会員等皆様のご支援により、事

とが、自分の健康保持に繋がりがり、人生を豊かにするすばらしい事業であると確信しております。

法人設立20年を経過した佐用町シルバー人材センターとして、事業を興し育ててこられた先人の努力に深謝の感謝をし、後継者の育成を喫緊の課題の一つとして地域社会の需要にこたえ、地域の活性化の役割を担うべくなお一層のご努力をお願い申し上げます。

業も順調に進展しました。

今後シルバー人材センター事業の理念を広く浸透させると共に、会員の参画意識を高め、事業の発展に微力ですが携わりたく今後共よろしくご指導をお願い致します。

なお、県大会では会員20年表彰も行われ、佐用町からは3名の方が受賞され、3日月地域の横本一美さん(写真左端)が当日参加されました。



20年表彰を受ける皆さん

20年表彰
受賞者

(佐用地域)
高井久美さん
(三日月地域)
小原春雄さん
横本一美さん

平成29年度会員親睦旅行

昨年11月14日に60名の参加による親睦旅行を行いました。

生憎の雨の中、2台の観光バスに分乗して「祖谷（いや）のかずら橋と大歩危（おおぼけ）峡遊覧船」の観光と会食を楽しみました。

大歩危峡では澄み切った流れの中を、両側にそり立つ断崖を眺めつつ、約30分間にわたる自然の神秘さを感じる遊覧でした。

遊覧船を降り期待いっぱい昼食にはアユの塩焼き等郷土料理まんさいに会話が弾みました。



大歩危峡遊覧船



会食（昼食）



祖谷のかずら橋

昼食後はバスで祖谷溪谷を進み、かずら橋に到着。渡れる自信のある人のみ。殆どの方は恐る恐る渡る様はまるで童心に帰っていました。奇声があちこちから聞かれました。

帰りのバスは疲れの為か幾分静かめでしたが、会員親睦の楽しい一日でした。これからも会員の皆様の仕事の糧になるよう、楽しい親睦旅行を計画いたしますので、多くの会員の参加をお待ちしております。

寄稿・投稿

第二の人生

年男 小原春雄（三日月）

私は、会社を定年になったら田舎に帰ってシルバー人材センターへ行って見ようと思っ居り、平成7年シルバー人材センターに入会しました。それから4年後に世話人を頼まれ、4年が過ぎ世話人から推進員と変わり、13年間推進員をさせて頂きました。働くことは体に良いし、私も第二の人生が送られて喜んで居ります。

シルバー人材センター様に感謝です。

働くことに感謝

年女 中井ヤチエ（佐用）

私は福祉施設の仕事をしています。朝9時30分から3時30分までシルバー、利用者と共に3・4名で洗濯、掃除をしています。

石の上にも三年という言葉がありますが、唇かんで泣くこともあり、こらえきれずに怒ることもある。大声あげて笑う日、思わぬことに胸おどる日。

春には園まつり、冬にはクリスマス会など、シルバー会員も参加させていただけます。

働く喜びの大切を自分のため、人のため。感謝。自分の生きがいを大事に。仕事ではコミュニケーションを取りながら、パワフルに明るいシルバー会員に。

相手のことを考え、相手を思いやりながら自分を振り返り、自分を育み自分を活かす仕事に感謝しながら続けて行けたらなと思います。

川柳

〇気になること少し伸ばして松の内
〇気づかってくれる子のあり寒ゆるむ
きみ枝

事務局だより

配分金の申告について

会員の皆様に支払われるシルバー人材センターの配分金は、所得税法上では雑所得として取り扱われますので、所得税確定申告又は町県民税申告の必要があります。

〈申告に必要な書類〉

配分金支払証明書、年金・給与等の源泉徴収票、農業収支内訳書等の該当する書類

〈参考〉

○シルバー人材センターから配布の『会員手帳』に記載の「配分金収入等に対する所得税の取り扱いについて」を参考にして下さい。

○町広報1月号に掲載されている「所得税確定申告と町県民税の申告相談」の記事と、同時に配布される「相談日程表(裏面)」を参考にして下さい。

※ 税の申告で分からない場合は、役場税務課(82-0662)又は相生税務署(0791-23-0231)にご相談ください。

新入会員紹介(29年7月～29年12月)

(佐用地域) (敬称略)

長谷川三紀生・坂本謙二・中野雅彦

井上主昭

(上月地域)

寺本佐代子・和田昭一

(三日月地域)

仲江佐智代・中山厚子

退会会員(お世話になりました)

(29年7月～29年12月)(敬称略)

(佐用地域) 山根耕次

(三日月地域) 井口桂子

シルバー人材センター会員募集!

会員の皆様より、お知り合いの方へ、シルバーへの加入のお声かけや紹介をお願いします。(佐用町在住で、健康で働く意欲のある方、60歳以上の方、シルバー人材センターの趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも会員になります。)

就業は、工場や施設での清掃、宿直、日直等の各作業、また、剪定、草刈り、草取りや片付け清掃等の諸作業、障子や網戸の貼り替えなどがあります。

また、平成29年度は、現在18名の方々が入会されました。

配分金支払日

1月分↓2月15日 2月分↓3月15日

3月分↓4月13日 4月分↓5月15日

5月分↓6月15日 6月分↓7月13日

7月分↓8月15日

原稿募集

シルバーだより次号の原稿を次のような内容で募集しています。

☆自己体験・随筆・短歌・俳句・写真等

☆原稿締切日 平成30年6月末

☆シルバー人材センター事務局まで。

編集後記

木枯らしの季節が訪れると「いきがい」の新年発行に向けて編集会議が開催されます。

シルバー活動も年々活動時間、活動範囲が増える中で、取材内容も新しい企画で採り上げるように委員全員が意見を出し合っています。

これからも「いきがい」をご期待ください。



広報委員長 舟引良基

副委員長 秋武 毅

委員 山田泰蔵

委員 祐保俊彦